



2022年、名古屋市文化振興事業団が主催するオペレッタ伯爵令嬢マリツァ（指揮：井崎正浩ソルノク市芸術監督／管弦楽：愛知セントラル交響楽団）公演において、舞台上で演奏するジブシー楽団「パーリンカーシュ ゼネカル」としての共演がきっかけとなり、デュオを結成し活動を始めたのが HIROSHINTA ヒロシントです。

SNS での動画が話題となり、同年 12 月に島根県安来市総合文化センターアルテピア「HAGANE MUSIC シリーズ」にも招聘され、ウクライナの歌手（民俗楽器バンドウーラの奏者でもある）カテリーナ・グジーさんと共演。その後、小中学校へのアウトリーチをはじめ、「平和のための音楽活動」を全国へ広げています。

齊藤浩 Hiroshi SAITO（ツィンパロン Cimbalom）

大阪音楽大学作曲学科卒業。ハンガリー政府給費留学生としてブダペストに留学。2003 年、エチュード音楽院 ツィンパロン科首席卒業、ディプロマ取得。その後、ハンガリー国立リスト音楽院を経て、2004 年、学長特別推薦によりスロヴァキア国立バンスカー・ビストリツァ芸術アカデミーに編入。2006 年、同校首席卒業。この時、アジア人として初めてツィンパロン・ソリスト・ディプロマを授与された。

2004 年、バラッシャジャルマット国際コンクール第 1 位。

これまでにスロヴァキア国立バンスカー・ビストリツァ歌劇場管、ジュール・フィル（ハンガリー）、N 響、読響、新日本フィル、いずみシンフォニエッタ大阪、京響などと共演。またサントリーホール サマーフェスティバルでは、2006 年にレントン《星》、2008 年にジェルヴァソーニ《イーレネ・シュティンメ》、2014 年にデュサバン《風に耳をすませば》の初演にも関わった。ソロ・リサイタルをハンガリーだけでなく日本各地でも開催、好評を得ている。クラシックをはじめ、中欧の民俗音楽、ジャズ、映画音楽、現代音楽にいたるまでレパートリーは広く、日本を代表するツィンパロン奏者として注目されている。

水野慎太郎 Shintaro MIZUNO（バイオリン Violin）

鈴木メソッドにてヴァイオリンを始める。名古屋芸術大学音楽学部器楽科卒業。2004 年～2006 年 チェコ共和国 プラハコンセルバトワールへ留学。勉強の傍ら、現地南米人らとタンゴバンド「SIN-RUMBO」を結成し、ヨーロッパ各地で演奏。2006 年、2017 年 アルゼンチンに短期留学。ピアソラ五重奏団最後のバイオリニスト、フェルナンド・スアレスバス氏に師事。帰国後はタンゴ界の重鎮、志賀清氏の手ほどきを受ける。また、ジャズバイオリンを北床宗太郎氏に師事。

2012 年 無伴奏アルバム「PLAY TANGO」をリリース。2012 年～2016 年まで毎年、アルゼンチン人作曲家「ホセ・エルナン・シビルス」とのユニットで日本横断コンサートを行い、デュオ CD 6 枚「Musica Viva」、「ふるさと」、「月のうさぎ」、「La Paz Anhelada」、「八木節」、「Preparense」を、また、ピアニスト綾部美和子と「道草」を発表。東京、大阪、奈良タンゴ祭に出演。

また多数の TVCM、ラジオドラマ、TV ドラマにて演奏。後進の指導を務めながら、多方面で活動中。



ツィンパロンは、西アジアに起源をもつ楽器です。130本以上もある金属弦を、綿を巻いたバチで叩いて演奏します。ハンガリーやチェコ、スロバキアなど中欧の国々ではレストランで演奏しているロマ楽団の中にこの楽器を見ることができます。目にも止まらぬ早ワザで、そこにいる人々を魅了します。また、フォークロアの楽器としても、民俗楽団の中で民謡や舞踏も演奏されています。さらに近年、現代音楽の分野でも新しい音素材として注目されています。

会場にHIROSHINTAが募金箱を設置し、「ユニセフを通じて戦時下の子どもたちへ」ならびに「能登復興の支援のために」寄付をします。みなさまのご協力をお願いいたします。

【お問い合わせ】 日本現代詩歌文学館

TEL 0197-65-1728／E-mail shiika@shiikabun.jp



Pray for Peace